



次の日曜日 から 始めよう

宣教的教会活性化のための
コーチのプレイブック

「次の日曜日から始めよう」へようこそ！

「次の日曜日から始めよう」は、世界中の地域教会の牧師やリーダーのための手引きです。その目的は、それぞれの地域や都市においてすべての教会員が神のミッションに積極的に参加するための、段階的な手順を紹介することです。

このガイドは、「教会活性化・スターターキット」の補助資料です。この「教会活性化・スターターキット」では、イエスが弟子たちを導く際に用いたミッショナル（宣教的）な原則、現代の教会が宣教において直面する主な課題、世界中のイエス・キリストを中心としたコミュニティがどのように宣教文化を築いているかの事例をまとめています。

本書は完全版「次の日曜日から始めよう」の要約版ですが、始めるために必要な情報はすべて含まれています。完全版には、各段階を導くためのより豊富な例、アイデア、推奨事項、具体的な手順が含まれています。

「教会活性化・スターターキット」と「次の日曜日から始めよう」の完全版はこちらからダウンロードいただけます。 www.activatetransformation.org

用語集

神の宣教

「神は、み国を拡げ、キリストのからだを建てあげ、み名の栄光のために、この世界の中からご自身のために一つの民を召しだし、その民をご自身のしもべとして、また証人として、この世界に遣わしてこられた」（ローザンヌ誓約www.lausanne.org より引用）

教会の活性化

聖霊に力づけられた神の民の愛が、「可能性」から「行動」へと変わることを指します。これは神の導きに従って信仰に満ちた小さな一歩を踏み出し、誰かに神の愛を示す瞬間です。神の愛が実際の行動として表れ、教会全体が活性化される力強い瞬間です。

変革

人の人生が主の導きに従って、霊的・肉体的・精神的・社会的に変わっていく、全体的なプロセス（グローバルCHEネットワークwww.chenetwork.org より引用）

「溢れ流れる愛」の原則

神の愛が次の三段階で広がっていくプロセスで構成されています。1.神の愛がまず私たち一人ひとりの人生に注がれる。2.私たち一人ひとりの人生を通して神の家族全体に注がれる。3.神の家族から隣人の人生へと溢れ流れていきます。

使徒の働き1:8 ミッションフィールド

それぞれのミッションフィールドについては「教会活性化・スターターキット」でさらに深く掘り下げられ、「次の日曜日から始めよう」を通して応用・発展されます。

➡ **エルサレム・ミッション**
私たちが日々接している人々

➡ **ユダヤ・ミッション**
私たちが共に礼拝し、集う場所に最も近い人々

➡ **サマリア・ミッション**
私たちの地域社会から隠れていて、傷ついている人々

➡ **平和の人**
他のコミュニティに所属しているか、つながりを持っていて、コミュニティ間の関係を築くための架け橋となる人。この人は、私たちの「サマリア・ミッション」において、関係を築くために重要な役割を果たす人物とされています。

神の宣教では全ての人がプレーヤーです

サッカーの試合を見に行くと、選手がフィールドでプレーしている間、サポーターがスタンドで応援しているのが一般的です。このような、ある人は試合を観戦するサポーターであり、ある人はプレーヤーとして試合に臨むという役割分担された環境は、サッカーでは効果的に機能します。

地域教会においても、このような光景が見られることがあります。
「教会員は観客席から応援するサポーター」、「牧師やリーダーたちは神のミニストリーのために用いられる才能あるプレーヤー」といったようにです。教会の指導者がそう意図しているわけではないかもしれませんが、しかしながら教会員が自らを「サポーター」と認識しているようでは、サッカーの試合のように「大多数はサポーターで、ごく一部がプレーヤー」という状態になりかねません。

神の宣教はそのようなものではありません。神の宣教では、誰もがプレーヤーなのです。神の家族とされ、贖われ、新しくされた家族のすべてのメンバーは、神の宣教チームの積極的なプレーヤーとなるために、超自然的なギフトを与えられています。それでは、地域教会はどのようにして、すべてのメンバーを「受動的なサポーター」から「神の宣教へ積極的に参加するプレーヤー」へと変わることができるのでしょうか。実は、教会としてシンプルな調整を行うことで、すべてのメンバーが観客席からフィールドに出ていくよう働きかけることができるのです。

まず、以下の2つについて根本的な考え方を変える必要があります。

- 1. 教会の指導者たちは、**コーチ**として活動することを学ばなければなりません。すでに他者へ仕える経験を積んでいる牧師や指導者は、教会員が積極的に活動できるよう働きかけ、促進することを始めなければなりません。
- 2. 教会員は、自分が**プレーヤー**であることを学ばなければなりません。教会の礼拝に参加する者は、行動と実践を通して、神の宣教に参加することを学んでいきます。

つまり、サポーターに**プレーヤー**になってもらうには、まずプレーヤーが**コーチ**になる必要があるということです。

なぜこの順番が重要なのでしょう。サッカーでは、あるサポーターにどんなに素晴らしい才能やアイデアがあっても、サポーターが勝手にフィールドに入ってプレーすることはできません。全てのプレーヤーは、**コーチ**が指名するのです。また、例え指導者たちが会員に教え、説教し、弟子となるように励ましたとしても、会員が神の使命を実践できる環境にいないければ、多くの会員は実行者となる方法を学ぶことなく、御言葉を聞く者として席に留まるだけになってしまいかもしれません。

サポーター、**プレーヤー**、**コーチ**それぞれについて見てみましょう。サポーターの欄に、何もネガティブなものはありません。誰もが喜びを感じる、素晴らしい瞬間ばかりと言えるでしょう。しかし、もしそれ「しか」経験がないとしたら、目標を見失ってしまいます。なぜでしょうか？それは、神はご自分の子どもたち一人ひとりを、ご自分のチームの「**プレーヤー**」として召されたからです。

 サポーター →	 プレーヤー →	 コーチ 
神の御業を喜び声援を送る	神が自分を用地てくださることを経験する	神が自分を用地てくださることを、他の人々が経験できるよう促進する
多くの人とプレーを観戦する	チームの一員として個人の才能を生かす	選手がそれぞれの才能を発揮し、チームとして協力し合えるようにする
神が働いてくださるよう祈る	神の働きに従いながら祈る	神の働きに従いながら祈るようにプレーヤーを導く
人生の変化の話を聞く	変わっていく人々の名前を個人的に知る	人間関係において、一歩ずつ弟子を育てる方法をプレーヤーに示す
他者から証しを聞き、神をほめたたえる	神の慈しみを経験している隣人たちとともに、神を賛美する	プレーヤーとともに神を賛美し、神のビジョンを思い起こさせる

ですから、私たちの**プレーヤー**が**コーチ**になれるように、またサポーターが**プレーヤー**になれるように導いていく必要があります。

宣教とは何か？

神の宣教の中心は、人です。イエスの大宣教命令は弟子を作ることを命じており、イエスが「最も大切な戒め」とした教えには、隣人を自分のように愛することが含まれています。どちらの教えも、隣人との関係が神の使命の中心であることを示しています。神は隣人を愛しておられます。そして、その隣人たち一人ひとりが、ご自身と和解することを願っておられます。ですから神は、人々に神の愛を示し、神の良き知らせを伝えるために、私たちを遣わされるのです。

実際に行動してみると、すでにイエスを受け入れる準備ができている隣人もいます。しかし多くの人々にとって、主を知り、主に従うには時間がかかるものです。それは一つの旅のようなものです。神はその旅のために、私たちが隣人とつながるように遣わしてください。そのような旅こそが、弟子作りの道を作るのです。私たちは、自分自身のように、隣人の健康と幸福に心を配ります。私たちは、神が私たちと分かち合ってくださいのと同じように、犠牲的で個人的な愛を溢れ流します。そして彼らをイエスに近づけるよう、あらゆる可能性を探るのです。

どう始めるのか？

基礎から始めましょう。サッカーチームのコーチングを例にあげながら、教会活性化の手順を一步步進めていく方法を理解していきましょう。それぞれのステージについては、後ほど詳しく掘り下げていきます。

サッカーのコーチは、チームの勝利のためにどのようにプレイヤーを鍛えるか？	牧師は、すべての教会員が神の宣教に参加するために、どのように彼らを鍛えるのか？	活性化プロセスの手引き
1. 基礎的な練習	1. 宣教の基本を実践する	5分間の宣教
2. ゲームのプレイ方法を学ぶ	2. 宣教を体験を促進する	宣教月間／宣教活動
3. ゲームをプレイする	3. 教会生活に宣教を組み込む	宣教文化
4. チームとして勝つことを学ぶ	4. 変化の様子を共有する	変革のビジョン

いつから始めるのか？

次の日曜日から始めましょう。すべてのプレイヤーを指導するには、彼らが集まっている場所で始めなければなりません。既存の集会はすでに教会への出席率が最も高い場所です。ですから、教会員全員を新たに別のミッションの時間に招待するのではなく、日曜日の朝の礼拝から始めるのです。

なぜ日曜日の朝なのか、その理由は以下の通りです。

- ほとんどの会員が集まっている
- 会員や指導者にとって、すでに優先すべき時間となっている
- 会員は、霊的訓練という視点から挑戦を受け、導かれる用意がある
- 教会の文化が築かれる主要な環境です

目標は教会全体を活性化することです。なぜなら、それが神の目標だからです。神はご自分の宣教のために、すべての人々に特別な才能を与えています。ですから、すべての教会員を活性化させるためには、最も良い機会が「次の日曜日から始める」ことです。

スモールグループも宣教を進めるのにとても良い環境ですが、教会全体の出席者からすると割合はかなり低くなる人が多いです。そこで私たちは、日曜日に会衆全体に宣教の基本を紹介することから始め、スモールグループではチームとして継続的な宣教文化を発展させるという方法を提唱しています。

どこから始めるのか？

まず、以下の4つミッションフィールドの各場所や人々への宣教に焦点を当てましょう。これらは、「溢れ流れる愛」の原則と、使徒の働き1:8 イエスの宣教の焦点に基づいています。（「教会活性化・スターターキット」activatetransformation.orgで詳しく説明されています。）

1. 教会の家族（溢れ流れる愛）

私たちは皆、神の家族の一員ですから、互いに神の愛を注ぎ合い、溢れ流れます。私たちは互いのために祈り、耳を傾け、奉仕し、祝福し、世話をし、励まし、学び、応援し合います。これが、隣人を愛する際の私たちの基準点となります。

2. 光として日々を生きる（💡エルサレム・ミッション）

私たちは、日々接している人々と、より深く、より丁寧に関係を築くことを学びます。神は、同僚、友人、家族、隣人にどのように仕え、祝福し、励ますのか教えてください。

3. 隣人に祝福を（🔑ユダヤ・ミッション）

私たちは聖霊の導きに従い、教会やその周辺の人々と地域を祝福します。私たちは、「神の民としてこの場所に置かれたことで、どのようにこの地域に影響を与えることができるのか？」と問いかけます。私たちはここで、天国の文化を溢れさせることを学びます。

4. 隠されている人、傷ついている人に仕える（😞サマリア・ミッション）

私たちは、地域社会の中で苦しんでいる、声なき声に耳を傾け、傷ついている人々のもとへ行きます。私たちは、イエスが「最も小さい者」について教えられたように、そのような人々に寄り添い、気を配り、ケアします。

「地の果て」やデジタルの世界についてはどうでしょうか？ 素晴らしい質問です。「地の果て」、すなわち世界中における神の福音のニーズについては、神の宣教のさらなる拡大であり、私たちはしばしば「海外宣教」と呼んでいます。海外宣教は非常に緊急性が高く重要な課題です。イエスが弟子たちを「地の果て」まで遣わされたように、すべての教会にも「地の果て」の使命を与えておられます。しかし、そのためには準備が必要です。私たちがまず神の家族の愛をエルサレム、ユダヤ、サマリアの隣人たちに溢れ流すことによって、「隣人を愛する」というこの宣教を、世界中の隣人へと拡大させていただきたいのです。

神の「教会活性化プロセス」を通して、私たちは、神が私たちに教えておられることを、他の町、地域、国、大陸の地の果ての隣人たちに「溢れ流す」ための準備をするように召され、導かれています。驚くような可能性がたくさんありますが、まず日々接している人々、地域の人々、傷ついた隣人と段階的にコーチングしながら、準備していきましょう。

ここにいます、私たちをお遣わしてください！

時に**神の宣教**は、海外宣教や、絶望的な状況にある人々への専門的な支援とだけ捉えられることがあります。その結果、教会員は**神の宣教**を、「他の誰かがどこかでやるもの」としか見ていなかったりします。

しかし、私たちの教会生活に神の宣教を取り入れることができるなら、すべての会員が神に力を与えられ、用いられ、導かれる個人的な体験を持つことができるのです。日曜日には、すべての教会員が「神は私をただのサポーターではなく、神のチームの**プレーヤー**として召されたのだ！」と悟ることができるように、とてもシンプルかつ強力な実践方法を紹介します。

次の日曜日、神の宣教の基本を実践することから、簡単に始められます。必要な時間はわずか5分です

ステージ 1 - 宣教の基本を実践する：5分間の宣教

目標： 次の日曜日から、**会衆全員**で、5分間の宣教の基本を実施することから始めましょう。

教会の規模、場所、文化に関係なく、私たちは5分間で宣教の基本を教会員全員で実践することが出来ます。

たとえ数分でも、聖霊が私たちを導き、互いに隣人を自分のように愛する方法を教えてください。神は私たちを導いておられます。どのような教会であっても、全員が5分間で、神の導きに従う方法を学ぶことができます。

以下の方法で次の日曜日から始めましょう。少なくとも5分間を使って、以下の「神の宣教の5つの基本」から、毎週一つずつ、順番に実行しましょう。

神の宣教の 5 つの基本

1. 互いに**祈り**合う (🙏「溢れ流れる愛」の原則)
2. 互いに**福音**を分かち合う (🙏「溢れ流れる愛」の原則)
3. この7日間、隣人たちの間で**光としてどのように生きてきたか**を振り返る (💡エルサレム・ミッション)
4. 私たちの礼拝場所の**地域と人々**のために祈る (🙏ユダヤ・ミッション)
5. 困っている人々を愛するための具体的な**アイデアや方法**を互いに出し合う (🙏サマリア・ミッション)

会衆を導く（コーチする）ために、以下の5分間のアウトラインを使用してください：

1. 基本の実践を行うそれぞれの**理由**を共有する
2. 全員が**パートナー**を選び、実践する
3. **隣人**を愛するために、この実践がどのように役立つかを説明する

あなたの会衆が各実践に慣れるまで、少なくとも2～3ヶ月間、毎週日曜日にこの5分間の宣教の基本を、順番に続けてください。

次の一步を踏み出すタイミングを、どう見極めるか？

コーチとして、私たちはチームが宣教の基本を実践した結果、どの程度訓練されているかを評価する必要があります。サッカーのコーチが、プレイヤー同士が一直線にボールをパスし合えるか、フィールドを移動しながらボールをコントロールできるか、ゴールに正確にシュートできるかどうかを確認するのと同じように、私たち教会の指導者も、会衆がこのシンプルな基本の実践にどのように反応しているかを見守る必要があります。

- 🙏 私たちは、互いに心地よく祈れているでしょうか？
- 🙏 私たちは皆、福音を伝える方法を知っていますか？
- 💡 私たちは、神が私たちを毎日使いようとしておられることを認識していますか？
- 🙏 私たちは、隣人に対する神の御心を感じているでしょうか？
- 🙏 私たちは、傷ついている人々と個人的に関わる方法を考えているでしょうか？

これらがその理由です。次のステップに進む前に、少なくとも2～3ヶ月間、毎週日曜日に各5分間の宣教の基本を順に実践することをお勧めします。次の段階の「ステージ2：**ゲームのプレイ方法を学ぶ**」では、会衆を前進させるための2種類の方法が与えられます。これまであなたの教会の歩みにおいて、主がどこへ導いておられるのかを考慮し、最適な方法を選択してください。



ステージ 2 - ゲームのプレイ方法を学ぶ

オプション 1：宣教月間プラン

    (1～4 ヶ月)

もしあなたの教会がすでに隣人とつながり始める準備ができているなら、まず**宣教月間プラン**を実行することをお勧めします。

目標：会衆を導いて各宣教の対象に対応する4つのミッション**体験**を行います。

宣教月間プランとは、日曜の朝の礼拝中に行う4つのミッション体験シリーズです。これらの4回の日曜礼拝は同じ月に行う必要はありませんが、1～4まで順番に行うよう推奨されています。各日曜日では「ステージ1：5分間の宣教」で学んだ宣教の基本を実際の体験に引き上げるように導きます。

そのうち2回は、礼拝から全員で一緒に出かけて活動を行います。全員がチームとして神の宣教を体験できるよう、スモールグループを形成するか、既存のスモールグループを活用することをお勧めします。

宣教月間プランの 4 週間の概要

1 週目 - 溢れ流れる愛（神の家族）

神の家族の中で、自分自身のように互いに愛し合うためのさまざまな実践を行います。その中で隣人を自分のように愛する準備が整います。

- 全員が自分と異なる世代の人とペアを組む
- カジュアルな質問を行い、**他者と親しくなる**練習をする
- 個人的な質問をして、**お互いを知る**練習をする
- 個人的な話をシェアし、**お互いの話に耳を傾ける**練習をする
- パートナーのために祈り、お互いに**祈りあう**練習をする

2 週目 - エルサレム・ミッション（会話の輪）

礼拝の中で、4-5人のグループに別れて、普段の日常生活の中で光と塩として生きることについて話し合い、祈ります。焦点は、すでに日々接している人々が自分にとってのエルサレムであることに気づくことです。

- 全員が**4-5人のグループ**に分かれ、それぞれが共有する時間を持ちます
- 「**先週**私はどんな機会に、神の愛を誰かに示せただろうか？」と祈りながら振り返る
- 「**次の週**、私は誰かに、またどのように神の愛を示すことができるだろうか？」と祈りながら考える
- 最後に、エルサレム・ミッションで、主が私たちに示してくださった**人々のために祈る**

3 週目 - ユダヤ・ミッション（神と共に観察する）

スモールグループに分かれて、日曜礼拝を離れ、私たちの教会のある地域やそこに住む人々を観察しに出かけます。そして、神がその地域や人々に対する御心を示してくださるよう祈ります。

- スモールグループを作り、近くの地域を歩き、**祈り、観察する**
- 歩きながら、「神よ、あなたはこの**特定の場所**ですでに何を行っておられますか？」と祈り、観察する
- 歩きながら、「神よ、**私が今見ている人々**を、あなたはどのように見ておられますか？」と祈り、観察する
- 終了後、全員で集まって**報告し、気づいた事や示された事を振り返り何ができるのか、互いに考えやアイデアを出し、話し合う**

4 週目 - サマリア・ミッション（新しい友人）

スモールグループに分かれて、日曜礼拝を離れ、社会的な隔たりを越えて、声無き声の持ち主と友人になりましょう。スモールグループは、事前に「平和の人」と計画を立てる必要があります。「平和の人」とは、私たちがつながりを持ちたいと願っている人々とすでに繋がっている人のことです。

- 「平和の人」は、礼拝中にグループが行く場所についての**洞察や説明**をする
- スモールグループは、決められた場所へ移動し、「平和の人」を通じてコミュニティの人々に**紹介**してもらいます
- スモールグループは、**シンプルで楽しいアクティビティ**などを通して、新しい友人と親しくなる時間を過ごす
- その後、スモールグループで**経験したことについて分かち合い、新しい友人のために祈る**

ステージ 2 - ゲームのプレイ方法を学ぶ

オプション 2：宣教活動プラン

    (4ヶ月間、毎週)

もしあなたの教会では、各ミッションフィールドに焦点を当てて小さなステップを毎週進める方が適しているのであれば、私たちはこの第二の選択肢である「宣教活動プラン」をお勧めします。

目標：「溢れ流れる愛」の実践を**発展**させながら、エルサレム、ユダヤ、サマリア・ミッションへと教会を導きます。

宣教活動プランは、日曜日の朝の礼拝の中に、5～15分の参加型で実践的なミッション体験を行います。メッセージの前、最中、または後に実践するのが自然でしょう。4ヶ月の間に、それぞれの宣教の対象を段階的に発展させていきます

宣教活動プランの概要

対象月	第1週目：  「溢れ流れる愛」の実践	第2週目：  エルサレムの認識	第3週目：  ユダヤの発見	第4週目：  サマリアの開発
1	主との出会いについて、互いにシェアする	日々接するエルサレムの隣人たちは誰か、具体的に示す	記憶をたどりながら私たちのユダヤについて具体的に示す	サマリアにおける社会的な隔たりについて話し合う
2	イエスについて、自由に深くより踏み込んだ質問をシェア(Yes, Noなどの短い返答で終わらない質問)	エルサレムの隣人のためにどのように祈るか	私たちにとってのユダヤの情報、ニーズ、ニュースを調べる	サマリアについて祈り、情報を調べる
3	互いにとって大切な人々や場所について共有し合う	エルサレムの隣人をどのようにケアするか	ユダヤを歩きながら、祈り観察する	サマリアを代表する「平和の人」から隣人について学ぶ
4	励ましの言葉や聖句を語り合う	エルサレムの隣人とどのように関わるか	歩きながら気づいた事や示された事を振り返り、次の行動を考える	「平和の人」を通してサマリアの隣人たちと出会う

第1週の備考：「溢れ流れる愛」 神の家族

- 5分間の宣教のプロセスに従って進めます。なぜこの実践を行うのかを説明し、全員にパートナーを選んでもらい、最後に、この実践を通して隣人を愛するためにどのように成長するのかを説明します。
- 全員が世代の違うパートナーを選ぶように勧めるのは、教会員同士をつなぐ素晴らしい方法です。

第2週の備考：「エルサレム」

- 一人ひとりのエルサレムを書き出す。まず紙に自分の名前を書き、名前を丸で囲み、その周りにいつも人を見かける場所の名前を書きます。それらを線で結び、それぞれの場所でいつも見かける人々の名前を書き出します。
- 教会員がそれぞれの環境の中で、どのようにして他の人々に祈り、ケアし愛を届けるのかを具体的に話し合います。

第3週の備考：「ユダヤ」

- 歩きながら祈り観察する方法については、前ページの宣教月間プラン第三週のユダヤ宣教をご参照ください。
- 3～4週目には、活動後に礼拝に戻るか、活動のために早めに礼拝を切り上げ解散するかを決めてください。
- 3～4週目はスモールグループで出かけていくことを推奨します。

第4週の備考：「サマリア」

- 「平和の人」を見つけ、つながりを持つことが、3～4週目の準備の重要な部分となります。
- 第4週では、礼拝を早めに切り上げてスモールグループに分かれ、サマリアの隣人に会いに行きます。

→ オプション 1 の「宣教月間プラン」を選択した場合は、ステージ3で**宣教文化の習慣**を作る際に、**宣教活動プラン**の宣教対象を段階的に発展させていく方法を今後の集まりに追加で組み込みましょう。

ステージ 3 - ゲームをプレイする： 宣教文化

私たちの教会員は皆、神の宣教を体験することで、ゲームのプレイ方法を学んできました。私たちの教会が、これからも継続的に神の導きに従っていくように働きかけていきましょう。

目標：教会の集会やスケジュールに、宣教の習慣を組み込む。

神の宣教は、プログラム、行事、宣教旅行に限定されるものではありません。祈り、礼拝、聖句、交わりのように、宣教は神の国の文化の中心的な部分です。ゲームのプレイ方法を学ぶことから、実際にチームと一緒に積極的にプレイするために、私たちは教会の習慣に宣教を組み込む、明確な計画を立てる必要があります。

私たちの教会が、価値と優先順位と祝福をもって一貫して実践することが、私たちの教会の文化の一部となるのです。祈り、礼拝、聖句、交わり、教え、献金、アナウンスなどの既存の習慣と同様に、私たちは**日曜朝の礼拝**、**スモールグループ**、また既存の**その他のスペース**に、どのように宣教を組み込むかを決める必要があります。

コーチはチームの文化を築くのに大きな働きをします。チームが成長するための重要な習慣を決定し、スケジュールを立てるのです。そこで、主の導きに従う宣教文化を確立するために、教会の指導者たちが、どのように教会に宣教を取り入れるのか、プロセスを見てみましょう。**ステージ2：「ゲームのプレイ方法を学ぶ」の後**、指導者たちは以下の内容について祈り、話し合いのための会合を持つべきです。

1. **教会が現在**、それぞれの宣教の対象についてどのように行動しているかを見直し、評価します
2. **集会に宣教**を組み込む方法を検討し、教会の次のステップを決定します
3. **それぞれの**宣教の対象を発展させ続けるための実践的なアイデアを出し合い検討します

1. 集会を振り返り、祝う：

次回、あなたの教会の指導者たちが集まり、祈り、計画し、教会の集会を振り返るとき、次のことを話し合しましょう。

- 🗣️ 各教会員が互いに**神の愛をどのように分かち合っていますか？**
- 📖 各教会員がそれぞれの「エルサレム・ミッション」について**どのように話し合っていますか？**
- 🏠 各教会員が私たちの「ユダヤ・ミッション」の**人々や場所とどのようにつながっていますか？**
- 🙏 各教会員が私たちの「サマリア・ミッション」において、**声無き声の持ち主や傷ついた人々をどのようにケアしていますか？**

2. 宣教の取り入れ方法を検討する：

指導者たちが、どのような宣教の習慣を継続するのか、あるいは始めるのかを決めるために、既存の定期的な集まりをそれぞれ見直します。**日曜の朝の礼拝**（主要な集会）、**スモールグループ**（週の半ばまたは第2の集会）、**その他のスペース**について、一つ一つ話し合います。「溢れ流れる愛」「エルサレム」「ユダヤ」「サマリア」ミッションの実践を取り入れるために、主がどのような方法で導いてくださるか、それぞれの集まりの習慣を祈り、見直してみてください。

「次の日曜日から始めよう」の完全版では、指導者チームが教会の集会に宣教の習慣を取り入れるのに役立つモデル、実例、その他の推奨事項を紹介しています。

3. 実用的なアイデアを探る：

互いに愛し合う方法について、アイデアを出し合しましょう。互いに愛し合うより多くの例を経験することで、隣人を愛する方法についてより多くの具体的な手がかりが得られます。「次の日曜日から始めよう」の完全版では、「溢れ流れる愛」を実践するための100以上のアイデアを紹介しています。そして、それらの実践を、日々出会う人々、地域的、傷ついた隣人を愛することに、どのように結びつけるのかについて、実践的な推奨事項を紹介しています。

ステージ 4 - チームとしての勝利： 変革のビジョン

私たちは「**ゲームをプレイ**」しているのです。私たちは共に神の宣教の中に生きています。では、このゲームにおける**勝利**とはどのようなものなのでしょうか？

目標：私たちのエルサレム、ユダヤ、サマリア・ミッションでどのような**変革**が可能か、明確なビジョンを描く。

神のチームとして、私たちはエルサレム、ユダヤ、サマリアの一人ひとりに、神の国をつないでいます。私たちはより深い関係を築き、すべての隣人がイエスを知るようになることを祈り続けています。コーチとして、私たちは神のチームが周りの人々を祝福し、教会の隣人にイエスを示し、隠れた人々や傷ついた人々に仕えるために、どのように導いたらよいかを常に学んでいます。

将来にわたって活気ある宣教的な文化を育むためには、私たちのチームは目標を常に意識する必要があります。「私たちが行っていることは何のためなのか？」私たちは神の宣教に従っています。ですから、まず神が私たちのために示してくださる「勝利」や「神の王国の影響力」のビジョンに目を向けましょう。

私たちの**エルサレム**において、主は私たちが日々、光と塩として生きるよう求めておられます（マタイ5:13-16）。私たちは、同僚、友人、家族、隣人に対して主の愛の豊かさとその輝きを「溢れ流す」ことを学びます。

私たちの**ユダヤ**において、主は隣人を自分のように愛するよう、何度も呼びかけておられます（マタイ22:39-40、マルコ12:31、ルカ10:27-28、ローマ13:9-10）。私たちは、地域社会の中で隣人を通して主の導きに従うことを学びます。

私たちの**サマリア**において、主はご自身のことを、「私たちを注視し、ケアし、ともにいてくださる方」として描写しています（マタイ25:31-46）。私たちは、声無き声の持ち主のところに行き、つながり、ケアすることを学びます。

チームを奮い立たせるために、私たちはメンバー一人ひとりに、私たちの働きがどれほど深く重要な意味を持つかを、全員に伝えていきたいのです。私たちはコーチとして、神が各領域において望んでおられる変革のビジョンを、できる限り魅力的で、美しい形で示すことを目指しています。私たちのチームは、チーム全体のビジョンを思い起こさせるだけでなく、各メンバーがそのビジョンにおける自分の重要な役割をどのように理解しているかについても、考えなければなりません。

エルサレム：日々の光として生きる

私たちは、神が私たちを用いる計画を持っておられることを意識しながら、毎日を過ごしています。同僚を祝福し、家族に仕え、友人を励まし、隣人を気遣いながら、神の福音を伝えていくことで、私たちが日々出会う人々は、これまで以上に神と神の王国につながるすることができます。

ユダヤ：御国の基盤を築く

発電所が電気を供給するように、私たちは教会の集まりに最も近い人々や場所に神の御国をつないでいます。そして、そのつながりは今も広がり続けています。

サマリア：希望を見出す

神の民として、私たちは進み続けます。奉仕し続けます。私たちは「**希望**」を見つけるまで、探し続けます。

彼女は貧民街の少女
暗闇の隅で
最も貧しい通りで
最も忘れ去られた地域の一番惨めな思いをしている女の子

希望はあります。神は今も彼女を見えています。私たちが主の導きに従うとき、希望を見つけ、彼女にイエスの希望と助けを紹介する日が来るでしょう。

さあ、始めましょう！

あなたの教会員全員が、神のチームとして共に活動する姿が見えますか？今まで神が自分をいようとしておられるとは考えてもいなかった会員が、今、日々を光として生きることについて話し合っています。「観客席」に座っているだけだった人たちが、神が隣人を祝福するために、自分をどのように用いたいと願っておられるかを学んでいます。そして私たちは、希望を見出しつつあるのです。人知れず傷ついている人たちが、イエスの愛を実際に体験しています。その中には、初めてその愛を感じる人もいます。神は、私たちの前に長く、期待に満ちた道を用意しておられます。ですから、神の導きに従って、次の日曜日から始めましょう。

「次の日曜日から始めよう」の完全版はこちらからダウンロードいただけます。

www.activatedtransformation.org アクティベート・インターナショナルは寄付のみで運営されています。このミニストーリーを支援してくださる方はこちらからお願いします。www.goactivate.org

15週間教会活性化・

プロセス・チェックリスト

- 第1週：5 分間の宣教 - 互いに祈りあう
- 第2週：5 分間の宣教 - 互いに福音を分かち合う
- 第3週：5 分間の宣教 - 光として生きることについて語る
- 第4週：5 分間の宣教 - 地域と人々のために祈る
- 第5週：5 分間の宣教 - 傷ついている人々のケアを話し合う
- 第6週：5 分間の宣教 - 互いに祈りあう
- 第7週：5 分間の宣教 - 互いに福音を分かち合う
- 第8週：5 分間の宣教 - 光として生きることについて語る
- 第9週：5 分間の伝道 - 地域と人々のために祈る
- 第10週：5 分間の宣教 - 傷ついている人々のケアを話し合う
- 第11週：宣教月間 - 神の家族において溢れ流れる愛
- 第12週：宣教月間 - 会話グループ（エルサレム）
- 第13週：宣教月間 - 散歩し観察する（ユダヤ）
- 第14週：宣教月間 - 声なき持ち主を訪問（サマリア）
- 第15週：新しい教会の習慣 - 教会指導者は統合された宣教習慣を導入する

32週間活性化・

プロセス・チェックリスト

- 第1週：5 分間の宣教 - 互いに祈りあう
- 第2週：5 分間の宣教 - 互いに福音を分かち合う
- 第3週：5 分間の宣教 - 光として生きることについて語る
- 第4週：5 分間の宣教 - 地域と人々のために祈る
- 第5週：5 分間の宣教 - 傷ついている人々のケアを話し合う
- 第6週：5 分間の宣教 - 互いに祈りあう
- 第7週：5 分間の宣教 - 互いに福音を分かち合う
- 第8週：5 分間の宣教 - 光として生きることについて語る
- 第9週：5 分間の伝道 - 地域と人々のために祈る
- 第10週：5 分間の宣教 - 傷ついている人々のケアを話し合う
- 第11週：5 分間の宣教 - 互いに祈りあう

- 第12週：5 分間の宣教 - 互いに福音を分かち合う
- 第13週：5 分間の宣教 - 光として生きることについて語る
- 第14週：5 分間の宣教 - 地域と人々のために祈る
- 第15週：5 分間の宣教 - 傷ついている人々のケアを話し合う
- 第16週：宣教活動プラン - 「溢れ流れる愛」 互いの話に耳を傾ける
- 第17週：宣教活動プラン - 「エルサレム」 日々接している人を書き出す
- 第18週：宣教活動プラン - 「ユダヤ」 記憶から私たちのユダヤを書き出す
- 第19週：宣教活動プラン - 「サマリア」 社会的な隔たりについて話し合う
- 第20週：宣教活動プラン - 「溢れ流れる愛」 イエスについて自由に質問しあう
- 第21週：宣教活動プラン - 「エルサレム」 どのように祈るか
- 第22週：宣教活動プラン - 「ユダヤ」 ユダヤの情報を探す
- 第23週：宣教活動プラン - 「サマリア」 祈り、情報を探す
- 第24週：宣教活動プラン - 「溢れ流れる愛」 大切な人々や場所を学ぶ
- 第25週：宣教活動プラン - 「エルサレム」 どのようにケアするのか
- 第26週：宣教活動プラン - 「ユダヤ」 祈り、観察し歩く
- 第27週：宣教活動プラン - 「サマリア」 平和の人に学ぶ
- 第28週：宣教活動プラン - 「溢れ流れる愛」 励ましあう
- 第29週：宣教活動プラン - 「エルサレム」 どのように愛を伝えるのか
- 第30週：宣教活動プラン - 「ユダヤ」 気が付いたことについて振り返り、次の行動を考える
- 第31週：宣教活動プラン - 「サマリア」 隣人たちと出会う
- 第32週：新しい教会の習慣 - 教会指導者は統合された宣教習慣を導入する